

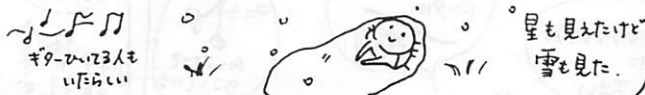


自然情報

しし座流星群

みなさん、流星見に行きましたか？当日の奥日光は、早朝（未明？）にもかかわらず、すごい人出でした。三本松の駐車場は満車状態、戦場ヶ原の国道には路上駐車の列、一部ではカーステレオをガンガンかけてお祭り騒ぎとなっていました。

ピークは17日の昼間にずれてしまったとのこと。33年ぶりの“流星雨”は見られませんが、久しぶりに星空をゆっくり眺めるいいキッカケになったのでは…？



紅 葉

暖かいせいか、今年の紅葉はあまり鮮やかではありませんでした。早い時期（ずっと雨が続いた後）の湯元や中禅寺付近よりも、その後のイロハ坂の方がきれいだったようです。



太郎山

夏～秋の大雨で太郎山のハガタテコースが更に崩れてしまいました。深いところは5 m程えぐられ、歩道がなくなっています。

小田代原の湖まだ健在

夏から秋の雨で小田代原にできた臨時の湖は2, 3ヶ月もつかな…?などと言っている間に冬になり、そのまま凍ってしまいました。秋にはキンクロハジロなどの水鳥も来ていましたが、今では全面結氷して、鳥の来るすき間もありません。

狂い咲き

10月下旬、中禅寺ではアズマシヤクナゲやオオハンゴンソウが、茶ノ木平付近でもヤシオツツジの花が咲きました。

10月の中旬には、湯元でも20度を超える日がありました。ちなみに平年の10月の平均気温は7.8℃です。

珍しいお客さん来る

11月中旬、湯ノ湖の北側で一心不乱に餌を食べているのはマガモのメス…？、かと思ったら、ヘンな形の嘴をしていました。調べてみるとそれは確かにハシビロガモ。大きな嘴の先っぽがぶっちゃぶれています。

ハシビロガモは、日光では1946年以前にしか確認されていないようです。



雷



* 男体山初冠雪 10月21日

10 cmほど積もりました

* 湯元初雪 11月10日



この日はふっかけ

山で降っている雪が風に飛ばされてくるのを、この辺では“ふっかけ”と言います。風花が標準語？

シカ有害駆除

例年2月頃に行われていたシカの有害駆除ですが、今年は10月31日から11月11日の間で5日間行われました。

捕獲した頭数



	捕獲	目標
日光	48頭	200頭
足尾	19頭	100頭

冬のハイキングに、湯元ビジターセンターオリジナルの「冬のフィールドガイド」を販売しています。内容は、冬の動物・植物の情報、雪上の道具についてや散策マップ等。ポケットに入る小さなサイズです。カウンターにてどうぞ。(¥100)

クマダナ

クマダナとは、木の上にクマが食べカス（実の付いていた枝）を集めた、巨大鳥の巣のようなもの。葉が落ちる季節になるとたくさん見つけられるのですが、今年は何故か見かけません。今年の秋は木の実が大豊作。木に登る必要もなかったのかなあ？

ウサギのみみ

ウサギのみみを両手で頭につけてみて

下さい！ほとんどの人は、こうするはず。

それでは、ホンモノのみみを見てみると…



よく考えれば当たり前の様な気もしますが、みみが前に垂れ下がっているウサギなんていません。これは手話の“ウサギ”です。耳からの情報がない分、すごく正確にものを見ているんですね。ネイチャーゲームもビックリ、の日常の観察力のすごさにカンゲキした坂内でした。[坂]



冬森へ行ってみませんか



しんしんと降る雪は、みるみる積もってゆく。雪が全ての音を飲み込んでいる。

立ち尽くせば、木の枝も、ササの葉も、電線も雪が積もってゆく。突然どこかで、ボトボト…、バサッ…と雪が落ちる音が聞こえ、いつの間にか自分も真っ白になっている。

晴れた日に林へ出かけると、動物達の足跡、食痕、フンなどに出会えるかも。どんな動物がここで何をしていたのかを、想像する楽しみが冬にはある。ひょっとしたらその足跡の主に出会えるかもしれない。彼らにとっての日常が、ここにちゃんと刻まれている。

「冬の森へ入る機会がなかなかなく、まして雪の積もった林へ行くこともない…」ほんの少しの『勇気』と『ワクワク』の心があればきっと出かけられるはず。

雪の森なら、歩く道具を使えばもっと自由にもっと楽しく観察できる。クロスカントリースキーやスノーシュー、輪カンジキなど。(使い方を習得したい方は、ビジターセンター冬の催しにご参加下さい)

でも、どこが立入禁止か雪崩の危険性はないかなど、決まり事や注意点は事前に調べたり知っておいた方がいい。

何もなさそうに見える冬の森。何かをいつでも気づけるよう感性の扉を開いていて。きっと、厳しい冬を生き抜く生き物達のいとなみに気付くはず…。

[下]

日光の催し



2 / 3 (水) **節分式** (東照宮・輪王寺・二荒山神社)

毎年恒例の「がらまき」が行われます。99年は、宍戸開さん、三井ゆりさん、藤吉久美子さん等が登場する予定。

2 / 7 (日) **フィールドウォッチングと雪の集い** (戦場ヶ原)

申込み〆切は1 / 22。

【日光自然博物館 0288-55-0880】

3 / 6 (土) **シカ・カモシカウォッチング**

～ 7 (日)

7日は田母沢ホテルに1泊し、8日足尾本山で観察の予定。

【環境庁北関東地区国立公園・野生生物事務所 0288-54-1076】

3 / 28 (日) **第15回 ファミリースキー大会** (湯元スキー場)

予定

豪華な賞品が用意されています。湯元に宿泊した方は参加無料。

【湯元温泉旅館協同組合 0288-62-2570】

*日光氷雪祭り (中禅寺温泉) は、今年はありません。

交通



❖ 休業期間・閉鎖期間

低公害バス (赤沼～千手) ～4 / 26 (予定)

中禅寺温泉ロープウェイ ～3 / 19

中禅寺湖遊覧船 ～3 / 31

中禅寺スカイライン ～4 / 27

山王林道 ～4 / 28

金精道路 ～4 / 21 正午 (予定)

❖ 明智平ロープウェイは運行中です。

❖ 休暇村日光湯元 → 湖畔のレストハウス間の車道は、3 / 31 まで一方通行になります。

❖ 駐車場

除雪されるのは、湯元内の駐車場、湯滝、光徳、三本松など。ただし、湯元第6駐車場 (有料) 以外は範囲が狭まったり、日によって雪が積もっていることがありますので、冬の奥日光へ来るならそれは覚悟の上で。湯滝駐車場は出入口が坂になっている上に凍りやすく、帰りに登れずに助けを呼ぶ車がたくさんいます。要注意!

❖ チェーン・スタッドレスは当たり前! でも冬の路上駐車は、自分にも、そこを通る車にとっても危険です。毎年コワイ思いをします。せめてこれだけはやめましょう、カーブのチェーン着け!!



キャンプ場



奥日光で現在開いているキャンプ場はありません。(イロハ坂下にいくつかあり) キャンプ場以外でのキャンプは禁止されています。



スキー場



各スキー場のクローズ予定

日光湯元スキー場 ～4 / 上旬

菖蒲ヶ浜スキー場 ～3 / 29

霧降高原スキー場 ～3 / 末

光徳XCスキー場 ～3 / 中旬



歩道



冬期は、小田代ヶ原・赤沼・三本松・湯滝・湯ノ湖畔のトイレが閉鎖されます。奥日光で使用できるのは、湯元第1駐車場、光徳駐車場、竜頭滝、華厳ノ滝、歌ヶ浜のトイレだけになります。

いざ！カマクラ



雪にまみれてカマクラ作りを体験。

懐かしい人、初めての人、大人も子供もOKです。

できあがった自分のカマクラの中で、ゆっくり遊んで帰して下さい。

主 催 (財) 自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日 時 平成11年3月13日(土) 10:00～14:30

集 合 場 所 日光湯元ビジターセンター

参加費 小学生 300円 中学生以上 500円 (幼児は無料)

募集人数 30名

スケジュール

9:45	受付開始
10:00	開会
	カマクラ作り (途中昼食)
	作業終了後、カマクラの中でおしるこをどうぞ
14:30	解散

持 ち 物 昼食、飲み物、おやつ (完成後は中で自由に飲んだり食べたりできます。いろいろ考えてご用意下さい！)。
あれば、スコップ、子供用のスコップやバケツをお持ち下さい。
服装は帽子、手袋 (濡れないもの)、長靴またはスノーブーツ。

申込方法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。

- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
- ⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
- ◆グループの場合はまとめてお申し込みください。カマクラは7～8人部屋?です。湯元のさらさら雪が固まるように水をかけているので、掘るのは結構重労働。掘り手が4～5人いれば1つのカマクラを作れるでしょう。
- 人数が少ない場合は、他のグループと一緒にすることもあります。
- ◆予約のキャンセルはお早めにご連絡下さい。前日以降のキャンセルはキャンセル料 (参加費の半分) をいただきます。



環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-16 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

日光湯元ビジターセンター 2・3月の催し物

奥日光クロカンスキー ハイキング（初心者）

のんびりゆっくり、
寄り道しながら歩きます

日 次 2/2（火）・11（木祝）・
24（水）、3/7（日）
時 間 10:00～15:00
場 所 戦場ヶ原・光徳周辺
集 合 三本松駐車場
参加費 1000円（レンタル料別途）
定 員 15名
その他 要予約

奥日光クロカンスキー ツアー（経験者）

きれいな湖畔の阿世湯コースと
林の中を自由に歩く裏男体コース

日 次 ①2/7（日）②3/14（日）
時 間 ①9:30～16:00
②9:30～15:30
場 所 ①歌ヶ浜～阿世湯
②裏男体
集 合 ①立木観音遊覧船乗り場
②三本松駐車場
参加費 1000円（レンタル料別途）
定 員 15名
その他 クロスカントリースキーの経験
者向けです。（アルペンスキー
とはかなり違います）要予約

湯元カンジキウォッチング

カンジキがあれば、夏とはまた違った
面白いモノが見つかるかも？

日 次 2/6（土）・9（火）・18（木）
3/3（水）・6（土）
時 間 10:00～12:30
場 所 湯元周辺
集 合 日光湯元ビジターセンター
参加費 無料（レンタル料別途）
定 員 10名
その他 要予約（空があれば当日参加可）

いさ！カマクラ

力を合わせてカマクラを作りましょう
ビジターセンターからおしるこを提供！

日 次 3/13（土）
時 間 10:00～14:30
場 所 ビジターセンター庭
集 合 ビジターセンター
参加費 中学生以上 500円
小学生 300円
定 員 30名
その他 要予約（1つのカマクラは7～
8人部屋になる予定。仲間を集
めてどうぞ！）

カンジキで行く 動物の森観察会

専門家の講師と一緒に、
冬の森に生活する動物達を訪ねましょう

日 次 2/21（日）
時 間 10:00～15:30
場 所 光徳周辺
集 合 アストリアホテル（光徳）
参加費 1500円（レンタル料別途）
定 員 30名
その他 要予約

奥日光カンジキハイキング

すべったり転がったり、
雪にまみれて楽しくハイキング

日 次 2/14（日）
時 間 9:30～16:00
場 所 湯元～小峠
集 合 日光湯元ビジターセンター
参加費 1000円（レンタル料別途）
定 員 15名
その他 要予約

半日クロカンスキー体験

初めての方も気軽に始めてみませんか
午後は自由に歩いてみてもいいですね

日 次 2/5（金）・20（土）
時 間 10:00～12:30
場 所 光徳周辺
集 合 光徳公共駐車場
参加費 500円（レンタル料別途）
定 員 10名
その他 要予約

2

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 XCハイイク （初心者）	3 休館日	4	5 半日XC	6 カンジキW
7 XCツアー （阿世湯）	8	9 カンジキW	10 休館日	11 XCハイイク （初心者）	12	13
14 カンジキ ハイキング	15	16	17 休館日	18 カンジキW	19	20 半日XC
21 動物の森 観察会	22	23	24 XCハイイク 休館日	25	26	27
28						

3

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 カンジキW 休館日	4	5	6 カンジキW
7 XCハイイク （初心者）	8	9	10 休館日	11	12	13 カマクラ
14 XCツアー （裏男体）	15	16	17 休館日	18	19	20
21	22	23	24 休館日	25	26	27
28	29	30	31			

2・3月の開館時間は 9:30～16:30（水曜休館）

レンタル料金

	半 日	一 日
輪カンジキ・スノーシュー	300円	500円
アルミスノーシュー	700円	1000円
XCスキーセット （板・靴・ストック）	1500円	2300円

*催し物の参加費にはレンタル料は含まれていません

NIKKO NATIONAL PARK **NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER**

環境庁 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元 TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

奥日光クロスカントリースキー ハイキング (XC初心者向き)

クロスカントリースキーで冬の行動範囲を広げてみませんか？
真っ白な雪の中を、のんびりゆっくり、寄り道しながら行きましょう。
(技術を習得するための学校ではありません)

主 催 (財) 自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日 時 平成11年①2月2日(火) ②2月11日(木/祝) ③2月24日(水)
④3月7日(日)
10:00~15:00

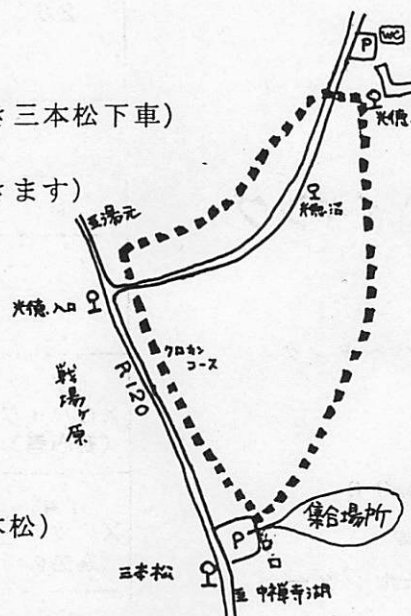
集 合 戦場ヶ原三本松駐車場 (東武バス湯元温泉行き三本松下車)

参 加 費 1000円 (スキーレンタル料は別途いただきます)

募集人数 各回15名

スケジュール

9:30	受付開始 (スキーレンタル)
10:00	開会 基礎の練習
11:30頃	昼食 (三本松) コースに出てハイキング (三本松~逆川橋~光徳~三本松)
15:00	三本松解散



持 ち 物 水筒、おやつ、リュック (水筒や脱いだ上着などを入れます)。
(昼食は三本松の茶屋で各自おとりください。お弁当を持参して外で食べることもできます)
服装は帽子、手袋、サングラス、あればスパッツ。動くと暑く、止まると寒いので、体温調節の出来る重ね着で。転んでも雪がつかないように、一番上にはツルツルしたレインウェアのようなものが良いでしょう。

申込方法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
⑧スキーレンタルの有無 (レンタルする方は靴のサイズ・身長)
・グループの場合はまとめてお申し込みください。
・予約のキャンセルはお早めにご連絡下さい。前日以降のキャンセルはキャンセル料 (参加費の半分) をいただきます。

そ の 他 当日の状況によりコースを一部変更する場合がございます。
・スキーレンタルは板、靴、ストックのセットで1日2300円です。

環境庁 日光湯元ビジターセンター

〒321-16 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

奥日光クロカンスキーツアー (経験者向き)

いつもとちょっと違うコースにも行ってみましょう。

雪のない時とはまた違った面白さがあるはずです。

クロスカンリースキーの経験者向きです。(アルペンスキーではありません)

主催 (財) 自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日時 ①平成11年2月 7日(日) 9:30~16:00
② " 3月14日(日) 9:30~15:30

集合 ①歌ヶ浜遊覧船乗り場駐車場
(東武バス中禅寺温泉下車徒歩15分 立木観音前)
②戦場ヶ原三本松駐車場
(東武バス湯元温泉行き 三本松下車)

参加費 1000円 (スキーレンタル料は別途いただきます)

募集人数 各回15名

スケジュール

①歌ヶ浜～阿世湯コース	②裏男体コース
9:15 受付開始	9:15 受付開始
9:30 開会	9:30 開会
準備運動の後、出発 (歌ヶ浜～狸窪～阿世湯 ～狸窪～歌ヶ浜)	準備運動の後、出発 (三本松～志津林道 ～梵字付近～三本松)
16:00 解散	15:30 解散

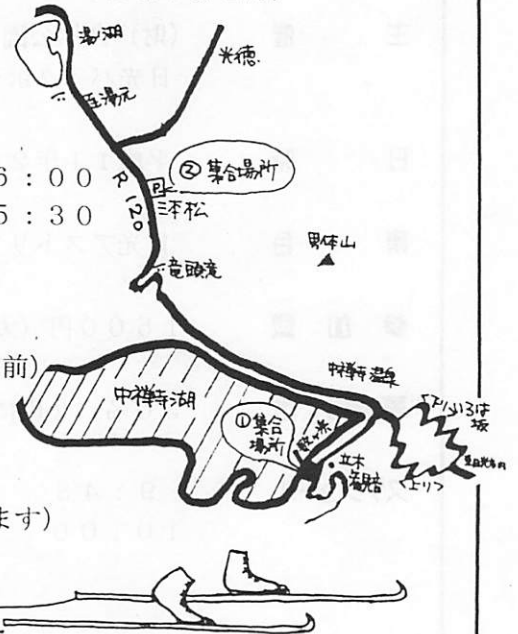
持ち物 昼食、水筒、おやつ、リュック。
服装は帽子、手袋、サングラス、あればスパッツ。動くとき暑く、とまると寒いので、体温調節の出来る重ね着で。転んでも雪がつかないように、一番上にはツルツルしたレインウェアのようなものが良いでしょう。

申込方法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。

- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
- ⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
- ⑧スキーレンタルの有無(レンタルする方は靴のサイズ・身長)
- ・グループの場合はまとめてお申し込みください。
- ・予約のキャンセルはお早めにご連絡下さい。前日以降のキャンセルはキャンセル料(参加費の半分)をいただきます。

その他

- ・当日の状況によりコースを一部変更する場合がございます。
- ・スキーレンタルは板、靴、ストックのセットで1日2300円です。



環境庁 日光湯元ビジターセンター

〒321-16 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

カンジキで行く動物の森観察会

あたりまえですが、冬の森にも動物達は住んでいます。
それに気付くコツをちょっとだけつかんだら、意外にもたくさんの‘跡’にびっくりするはずです。
外を歩き慣れた専門家の講師が一緒します。



主 催 (財) 自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日 時 平成11年2月21日(日) 10:00~15:30

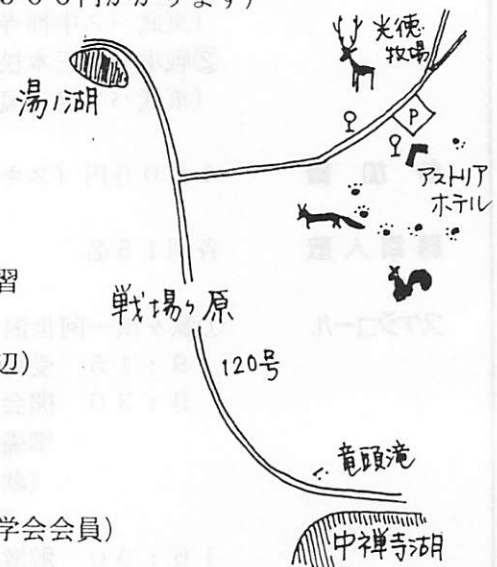
集 合 日光アストリアホテル(東武バス光徳經由湯元温泉行き光徳温泉下車)

参 加 費 1500円(カンジキのレンタル料は、別途500円かかります)

募集人数 30名(2班にわかれます)

スケジュール

9:45	受付開始
10:00	開会 講師のお話 カンジキの履き方・歩き方練習
12:00頃	昼食 カンジキで野外観察(光徳周辺)
15:30	解散



講 師 手塚牧人氏(野生動物研究家)
本間和敬氏(ほ乳類学会会員、野生動物保護学会会員)

持 ち 物 昼食、水筒、おやつ、リュック。(アストリアホテルで昼食をとることもできます)
服装は帽子、手袋、サングラス、あればスパッツ。ブーツや長靴なら雪が入らず快適です。

申込方法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。

- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
- ⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
- ⑧レンタルの有無(スノーシュー・輪カンジキどちらかの希望があればその旨)

- ・グループの場合はまとめてお申し込みください。
- ・予約のキャンセルはお早めにご連絡下さい。前日以降のキャンセルはキャンセル料(参加費の半分)をいただきます。

そ の 他 ・当日の状況によりコースを一部変更する場合がございます。



環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

〒321-16 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

奥日光カンジキハイキング

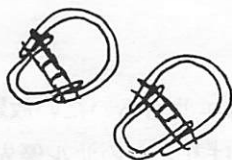
昔ながらの輪カンジキをつけ、クツでは入り込めない森の中をハイキング。
すべったり、転がったり、雪にまみれて楽しく冬を満喫しましょう。

主 催 (財) 自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日 時 平成11年2月14日(日) 9:30~16:00

集 合 場 所 日光湯元ビジターセンター

スケジュール 9:15 受付開始
9:30 開会
カンジキの扱い方などを練習後、
ハイキングに出発
<湯元>
↓ 夏の歩道 (上り)
<小峠付近>
↓ 旧林道 (下り)
<湯元>
16:00頃 解散



参 加 費 1000円 (輪カンジキのレンタル料は別途500円がかかります)

募 集 人 数 15名

持 ち 物 昼食、水筒、おやつ、リュックサック。
服装は帽子、手袋、サングラス、あればスパッツ。ブーツや長靴なら
雪が入らず快適です。動くと暑く、止まると寒いので、体温調節の出来る
重ね着で。

申 込 方 法 参加希望の方は、電話かFAXにて次の事項をご連絡ください。
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号(あればFAX番号)
⑥集合場所までの交通機関 ⑦この催しをどこで知ったか
⑧カンジキレンタルの有無
• グループの場合はまとめてお申し込みください。
• 予約のキャンセルはお早めにご連絡下さい。前日以降のキャンセルは
キャンセル料(参加費の半分)をいただきます。

そ の 他
• 当日の状況によりコースを一部変更する場合がございます。
• 上り下りがあり、多少体力を使うコースです。
• カンジキを持参する場合は、必ず爪の付いているもので。

環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER

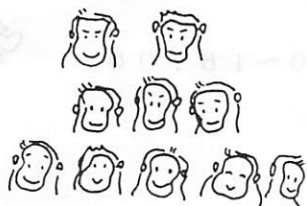
〒321-16 栃木県日光市湯元
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

みんなで考えよう！

⑤サルのかみ付けⅡ

人間からのエサの味を覚えてしまったサルは、おみやげを奪ったり、畑を荒らしたり…等々、いろいろな問題を起こしています。地元の人達もウンザリ。ところで、サル自身にはどんな影響が…？

<野生のサルは、もともとどんなふうに住んでいたのでしょうか？>



サルは群れで生活しています

群れの中にはキビシイ上下関係が…



食べ物は、木の芽や実、草、昆虫、冬には樹皮も。

もちろん自分でとっています。

エサを求めて山から山へ移動する日々。

ところが <人間のエサに頼るようになると…>

イロハ坂で

じっと待つサル



混雑時はエサもらいたい放題

でもやっぱりえらいサル優先

閑散期は下っぱほどエサ不足に…

冬になるとエサ激減



エサもらってる方がラクでいいだろう、と思うのは大まちがい。かわいーと思ってエサをあげることが、実は裏目に…

ニュース

※ 日光いきいき情報（POPPIネットワークシステム）が、インターネット・FAXでも見られるようになりました。内容は、天気情報・交通情報・行祭事情報・自然情報・スキースケート情報などです。（ビジターセンター、自然博物館、東武日光駅等には表示板が設置されています）

インターネット <http://www.nihon-kankou.or.jp/cgi-bin/Nikko.pl>

FAX 028-623-2222（ボックス番号：2100）

※ 年末年始はビジターセンターが開館します。（12/31～1/3, 9:00～16:30）

また、1月からはクロカン・カンジキ・スノーシューの貸し出しをいたします。（催し物と重なるときはレンタルできないこともあります）2・3月の催しの参加申込は、1/4から受付開始！

昔の話聞いた話

その4、冬の奥日光の交通の話（教えてくれた人：深山の福田貞二さん・きみいさん）

戦前の話です。日光市街から湯元に来るには、まず電車で馬返まで行き、そこからケーブルカーで明智平へ、その後バスに乗る、というパターンでした。20人も乗れば止まってしまうというそのバスは、何と木炭車。竜頭滝の坂（旧道）を登るときは、年寄り子供を車内に残し、若い人達は降りて歩かなければならなかったそうです。（ただし、歩いた方が早かった）

貞二さんが子供の頃、湯元の子供達はバスで中宮祠（中禅寺）の学校まで通っていましたが、冬になるといろは坂よりも下の親戚などに預けられました。木炭バスが（雪で）菖蒲ヶ浜より上にあがってこなくなってしまうため、下の学校に転校するのです。

戦後になると、アメリカの進駐軍が、金谷ホテルに宿をとって湯元までスキーに来るようになりました。はじめの2、3年は雪上車（よく氷河の上なんかを走っている、キャタピラの付いた車）に乗ってきたそうです。その時乗せてもらったきみいさん曰く、“腸がどうにかなりそう”な程揺れたんだそう。今の雪上車以上にすごかったようです。

それにしても、歩くよりはやっぱり車の方が楽。お客さん歩かせるわけにいかなかんべ～、ということで登場したのが馬ソリです。菖蒲ヶ浜～湯元間を往復することになりました。が、引くのはもちろん馬。人が大勢乗れるわけでもなく、やっぱり坂道になると、“馬の鼻の穴ばかり大きくなってさっぱり前へ進まなかったなあ”とのことでした。



一冊の本

開

日光パーフェクトガイド

日光観光協会・編

地域ごとのガイドと資料・情報のページで構成されています。カラー写真がとても多く、見ているだけでも楽しい本。とくに歴史関係の情報が充実しています。

ひとことノートより

98/11/12

東洋大学TRCというバイクサークルです。金精道路を越えようとしたんですが、雪のため走れませんでした。自然はキビシイですね。今度は走ってやる!!

こっちへ来ると別世界。

まさか～と思っても、確認してきてね!

98/11/23

免許をとってまだ1年に満たない私は、いろは坂が恐ろしくてたまりません。帰り道、安全に楽しく行けます様に...

私もはじめそうでした。大回りで行きましょう!

読者の声

みなさんからのご意見やご感想など大募集! どんなことでもOKです。気軽にお手紙下さい。(電話、FAXなんでも受付)

スタッフ紹介

⑫梅原陽子(うめはらようこ)

事務

月に4、5回しか事務所に来られませんが、やさしい母親のように事務所のみんなを包んでくれる、そんな存在です。お昼にはいつも手作りのお弁当をひろげ、娘さんのお話や息子さんのお話、おいしい〇〇のお店の話などに花を咲かせます。ときどき結婚幟旋人に変身することがあるのでスタッフは困ったりするけど…。私にとっては理想の母親像です。

〔下里〕



今年もお世話になりました！

1998年のビジターセンターの入館者は、62,034人でした。

(ちなみに櫃通信年間購読者249人)

来年もまた遊びに来てくださいね。

それでは、良いお年を！



宇都宮の日の出入り

	出	入
2/10	6:35	17:15
3/12	5:57	17:44

気 象

	月	中宮祠	戦場ヶ原	湯 元	男体山頂
平均気温 (℃)	2	-2.8	-4.3	-5.3	-14.8
	3	-0.1	-0.8	-2.1	-10.1
降水量 (mm)	2	86.1	71.8	58.0	不 明
	3	113.7	112.0	74.0	不 明

イベント報告

シカとマスの棲む森を訪ねて

平成10年11月7日(土)～8日(日)

一般参加 11名

日光湯元ビジターセンターでは2回目の宿泊プログラム。宿泊にしたのは、毎回のシカウォッチング講師の本間先生の話をもっと聞きたい、シカが動き出す夕方や夜に観察したい、という声が多く寄せられたからでした。

1日目は先生のシカについての講義の後、千手ヶ浜に観察に。ところが、何と当日、近くでシカの駆除が行われるとの情報が入りました。うわー今回はダメかな…との心配がよぎりましたが、千手の森歩道を歩き始めると、今まで見たこともないような発情したオスのこわい顔がいくつも見られました。夜のウォッチングも含め、たくさんのシカに会えた満足の声が参加者から聞かれ、ホッ。宿舎に帰って一杯飲みながらシカのスライドを見て、興奮がさめやらぬうちに1日目が終了しました。次回はシカがたくさんいることの意味をもっと考える催しにしたいな、と感じました。

翌日はマスの観察。行きの湖畔ハイキングでは何と季節はずれの紅葉が楽しめました。マスの遡上には時期が遅すぎるということだったのですが、外山沢川では講師の北村先生も意外な顔をされる程のブラントラウトやイワナが観察でき、奥日光の自然を満喫した2日間が終わったのです。

〔宮地〕

次号は

2月下旬

発行予定